

第3回 富里市基本構想審議会 議事録

日時：令和3年11月29日（月）

時間：午前11時00分

場所：富里市中央公民館4階会議室

出席者

関谷 昇	千葉大学 教授（会長）
篠原 眞司	富里市都市計画審議会 会長（副会長）
寒郡 茂樹	富里市商工会 会長
根本 実	富里市農業協同組合 組合長
森田 修仁	富里市観光協会 会長
高山 茂久	富里市区長会 会長
丹 さく子	富里市地区保健推進員協議会 会長
森田 恵子	富里市教育委員会 教育長職務代理者
石川 賢治	富里市スポーツ協会 副会長
山縣 俊明	公募委員

欠席者

秋葉 政則	富里市消防委員会 副委員長
河合 俊彦	千葉交通株式会社 取締役自動車部長
龍岡 穂積	富里市医師連絡協議会 会長
宮川 朱実	社会福祉協議会 会長
村井 香織	公募委員

○関谷会長あいさつ

久しぶりの対面開催の審議会となった。新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか先行きの見通しが立たない状況になっており、経済活動や地域活動にも影響が出ていることと思う。そのような中で総合計画として、これからのまちのあり方を決めていくこととなる。意見が出しづらいところもあると思うが、お気づきの点についてはご指摘いただきたい。

○委員紹介（自己紹介）

○議題

（1）協議事項

①基本構想（素案）パブリックコメントの結果について

【事務局より、基本構想（素案）のパブリックコメントの結果及び素案修正について報告】

委員：最終的に基本構想を諮問するのも、この会議のこのメンバーに対してということになるのか。

事務局：その通り。

委員：（政策実行計画の）3年間のローリング方式というのは、どのような手法で行うのか。

事務局：1年ごとに3年後までを期間として、計画を更新していくといったイメージです。

委員：毎年評価し、細かく修正していくということなのかと思うが、どのような計画になるのか。

事務局：計画について毎年各課で評価し、企画課で取りまとめ、ホームページや冊子で公表していく形になる。

副会長：毎年進捗率を出せるかという問題もあると思うが、そうしたことも含めて各課で毎年見直していくという考えでよいか。

事務局：その通り。

委員：成田空港の機能強化が人口へ与える影響によって、施策を大きく変える必要性も出てくると思う。そうしたことを見越して、基本的な施策自体を吟味できる形が望ましいと思う。

事務局：今回の計画はPDC Aサイクルとともに、D - OODAループも導入して行政評価を行っていきたくて考えています。ご意見を参考に進めていきたいと思ひます。

会長：計画を進めるといふことは評価とセット。地域や社会状況の変化を見て、どう軌道修正を図るかも重要。計画をどのようにまわしていくかを明確にするのが望ましい。

会長：それでは、他に意見がないようなので、基本構想（素案）を基に基本構想（案）へと進めていただきたい。

（2）報告事項

①前期基本計画（素案）について

【事務局より前期基本計画（素案）の概要を説明】

委員：農業に関する取組で、SDG sの2番目しか掲げられていないものが多いが、他の目標に関わるものも多いと思う。JAとしても農家に対してSDG sを発信しており、このあたりの考え方については後日調整させていただきたい。

事務局：JAのお考えも伺い、整合を図っていきたくて思ひます。

委員：SDG sは世界的な基準であるし、市内にはJAと関わりのない農業団体もいる。インボイス制度により不安を抱えている農家もいる状況であり、JAと市だけで決めることのないよう、打合せいただきたい。

事務局：SDG sの設定に当たっては、市全体の農業政策という考えで検討するため、JAのみの意向で決定するということはありません。

委員：JAとしても、JAの立場ではなく、世界基準と照らして意見するつもりである。

委員：コンパクトシティについて言及があるが、具体的にどのような考えなのかお聞きしたい。

事務局：コンパクトシティとは、拠点を作り、その周辺に住宅や施設を集約していくまちづくりの考え方で、全国的に進められているものです。富里市は、市街化区域として、七栄地区を中心にもともとコンパクトなまちづくりが進められてはいましたが、そこに隣接する形で農地や住宅が広がっていきました。こうした状況の中、今年7月に市街化区域の用途地域の見直しを行ったところだ。今後も、コンパクト化が加速するよう取り組んでいきます。市内の約8割を占める市街化調整区域については、市民の住環境を阻害しないよう、限定的な地域で規制緩和を図り、土地を活用する方向性です。そのため、県や国との協議を進めます。

委員：富里市は国家戦略特区に申請している状況であり、少しでも多くの人に住んでいただけるよう、規制緩和を図っていく必要がある。

委員：国道や県道の整備については、国や県にどの程度働きかけていくのか。

事務局：国道 296 号線をはじめとした富里市の幹線となる国県道のほかに、富里市の管理する、酒々井 I C から市役所・中央公園に伸びる道路がありますが、これが当初の見込みを大きく上回る交通量となっています。特に空港の物流関係の車両の増加によるところが大きく、県に対して道路の更なる充実について要望を行っています。国道 296 号線までは整備されてきたところで、今後、県道八日市場佐倉線への接続について要望していきます。

富里市としては現在、日吉台から富里 I C の山林に都市計画道路の整備を進めています。日吉台と七栄を結ぶことで、経済的な波及効果も期待できるものと考えています。その他、富里高校方面から酒々井 I C を結ぶ道路の拡幅など様々な道路計画を推進しています。

基本計画の中でも道路施策として、このあたりの考えを盛り込んでいきます。

委員：市内に滞在してもらえるよう、迂回されないように道路整備を検討する必要があるのではないかと。先日の八街市の事故のこともあり、道路整備は子育て世帯の転入にも影響する。

事務局：道路整備と交通安全については、同時に進めていきます。いずれも計画には取組として位置付けます。

委員：新たな道の駅には言及しないのか。

事務局：道の駅のような機能を持つ観光・交流拠点施設として、現在整備中の「末廣農場」について基本計画の中に位置付けています。来年 4 月オープンを目指し、整備を進めています。

委員：無料 W i - F i について言及があるが、具体的にどのような状況か。

事務局：市役所ロビー 1 階に無料 W i - F i が整備されており、観光ブースで来訪者も利用が可能だが、これ以外の整備については、それぞれの取組の中で検討していきます。

委員：末廣農場は、どの程度市の自由度があるのか。たとえば、世田谷区のように、市内の古民家を敷地内に移設し、市民も利用できる施設とするような取組は検討の余地があるのか。またそうした具体的な取組は、いつ市民に公表されるのか。

事務局：末廣農場の進捗としては、市のコンセプトに基づき既に設計が済み、これから工事という段階です。また、運営については指定管理事業者が決定しており、市のコンセプトのもとで運営していくこととなります。事業者側からの提案は受け付けるので、そのあたりの協議を今後進めていく。近代農業の発祥の地というところをいかに後世に伝えていくかが、視点となってきます。

事例としてあげていただいた古民家の取組は、今回の事業の中では難しいと思いますが、市内の古民家にかかる取組は、基本計画の考え方のもとで空き家対策や様々な施策推進の中で検討していきたいと思っています。

委員：指標として挙げられている「観光・交流拠点の来場者数」は 5 年後の目標だが、毎年報告してもらえるものなのか。

事務局：運営状況の公開については、担当課にご意見があったことを伝えます。また、末廣農場の進捗状況については、基本的にはホームページで公開をしていますので、そちらもご覧いただければと思います。

会長：施策のパーツは非常に練りこまれていると思うが、計画にストーリー性をどう盛り込むかが重要ではないか。たとえば成田空港の機能強化をどう生かしていくのか、どういうところにターゲットを置いてどういう施策に結びついてくるのかというところが見えるようになるとういと思う。

②今後のスケジュールについて

【事務局より今後のスケジュールについて説明】

委員：議会への説明を予定しているとのことであったが、議会を YouTube で公開していると思うが、誰が作っているのか。見づらいという印象を受けるし、手伝いたいという方も多いのではないかと。

事務局：議会中継については担当部署があります。ご意見については伝えておきます。

事務局：最終的な答申書には、計画を推進するに当たっての、皆様の希望や必要な視点を盛り込む予定です。

諮問の際に、基本構想に対する委員の皆様の想いやご意見をいただければと思います。

〔終了〕